

ほけんだより

まなび

【プライベートゾーンについて学びました】

1月12日(木)の二測定の時間に「大切な私の心と体～自分で守ろう!プライベートゾーン」というテーマで、自分自身を守るための方法や、気をつけてほしいことについて授業をしました。授業の内容をお伝えします。

授業の始めに子どもたちに対して、みんなは一人ひとりが「かけがえのない」とも大切な存在であること、そしてみんなを守るためには、自分自身を守る方法を知ることがとても大切であることを伝えました。そして、○×クイズや3択クイズで子ども達も自分のこととして考えながら学びました。

↓授業の内容です。

①「身体はどれもすべて大切」であることを前提として、「プライベートゾーンは身体の内側につながる、命につながる自分だけの場所」であることの復習。

②プライベートゾーンのルール

- 自分のプライベートゾーンは「見せない」「さわせない」
- 他の人のプライベートゾーンは「見ない」「さわらない」

右のクイズでは、「“知り合い”がもしも仲の良い友だちだったらどうだろう・・・」と少し考える様子もありました。

③パーソナルスペースや身体の自己決定権について

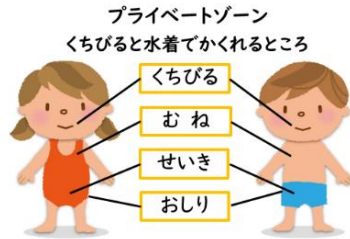
- 身体の自己決定権とは

→ 自分の身体のことについて、自分で決めることができるということ。

触れられたり見られることが嫌だな、なんか変だな、と思ったときは、もちろんプライベートゾーンでなくても、断る権利がある。

それと同時に、人とのふれあいには相手の「同意」を得ることが必要。怖がらせたり、報酬を渡して得た「同意」は、本当の「同意」ではない。

門真市立砂子小学校
保健室 6年生特別号
令和5年(2023)1月25日(水)



プライベートゾーン
くちびると水着でかくれるところ

クイズの一つです

②知り合いの人にプライベートゾーンを見せられた。やさしい人だし、「ひみつにして」と言われたので、ひみつを守る。

相手がかたでも、悪いひみつは守らなくていいです。必ず大人に話してください。

④スマートフォンの使い方

クラスのほとんどの児童がスマートフォンを持っているため、SNSで被害にあわないようにクイズでルールを確認しました。

・裸や下着姿の写真是、どんな理由でも、誰が相手でも、送ってはいけない。(プライベートゾーンのルール違反になる)

・SNS上に公開された文章や写真を消すことはとても難しいので、個人情報のはせない。

・「自画撮り被害」について知る

→「児童が自ら撮影した画像に伴う被害にあった児童数(小中高生)」は、平成29年では約500人で、年々増えている。被害に遭った児童の約8割は面識のない者に画像を送らされている。

(警察庁リーフレット「STOP!ネット犯罪」より)

・プロフィールを偽ることも出来るのでSNSで知り合った人とは会わない。

上記のことで自分が被害にあってしまったとき(写真を送ってしまったなど)でも、送らせた相手に責任があります。子どもだけでは解決できないので、身近な大人に必ず伝えてください。

⑤ルールが守られていないときに自分を守る方法

もし、「NO」「GO」ができなくても、みんなは決して悪くない。

でも、「TELL」の「大人に言う」は必ずしてほしいと伝えました。

⑥もしもの時の相談場所について

中学校に進学すると、今まで以上に楽しいことも、悩むことも増えると思います。そんなときに、家族はもちろんですが、家族以外にも相談できる場所を知っていると心強いです。知らない人の方が相談しやすい場合でも、SNSで知り合った人ではなく、専門的な相談機関へ相談するように伝えました。

クイズをすると、ほとんど全員の子どもが正解を選びました。しかし、いざ自分自身のこととなると、判断を迷うことがあるかもしれません。

今回の授業をきっかけに、ご家庭でもプライベートゾーンのこと、性のこと、スマートフォンの使い方、自分を守ることなどについて、話していただければと思います。性教育は「かけがえのないのち」にかかわる教育です。学校と家庭で協力して行っていくこと、また、一度で終わらずに、くり返し伝えていくことが重要だと考えています。授業の内容等でお聞きになりたいことがあれば、いつでも保健室の長浜までお問い合わせください。

クイズの一つです

(1)はだかや下着すがたの写真を送ったり、SNSにのせたりしていいのはどんなとき?

- ① 友達に送るときだけ
- ② カギ付きアカウントのときだけ
- ③ どんな場合もダメ



はだかや下着すがたの写真を送ったり、SNSにのせてはいけません。

どんな理由でも、どんなに仲の良い人が相手でも、だめです。



一度ネットに公開された文章や写真は、なかなか消せません。



ルールが守られていないとき

NO! GO! TELL!

「いやだ」「やめて」というにげる 大人に言う